



安全データシート

1. 化学品等及び会社情報

製品名	Rnase A Solution (BSC10M1B matching component)
製品コード	BSC10M1B01
会社名	バイオライフサイエンスジャパン株式会社
住所	〒650-0046 兵庫県神戸市中央区港島中町4丁目1-1 ポートアイランドビル10F 1005号室
電話番号	078-335-7475
ファックス番号	078-335-7485
緊急連絡電話番号	078-335-7475
推奨用途及び使用上の制限	研究用途、専門ユーザー

2. 危険有害性の要約

2.1 GHS分類

本製品は複数の構成試薬からなるキット製品です。危険有害性の要約にはキット製品としてのGHS分類結果を記載しています。各構成試薬成分の報は組成及び成分情報を参照ください。

2.2 GHSラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語

危険

危険有害性情報

H334:呼吸器感作性(区分1)

注意書き
安全対策

P261 ミスト/蒸気の吸入を避けること。
P284 換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること。

応急措置

情報なし

保管

情報なし

廃棄

P501 内容物/容器を承認された処理施設に廃棄すること。

2.3 他の危険有害性

情報なし

3. 組成及び成分情報

RNaseA Solution

単一製品・混合物の区別

混合物

GHS分類

H334:呼吸器感作性(区分1)

危険物成分

成分	CAS 番号	濃度(%)
RNase A	9001-99-4	1

4. 応急措置

一般的なアドバイス

応急措置担当者は自分が暴露しないよう、適切な防護を行う。
この安全データシートを担当医に見せる。

吸入した場合	吸入後は新鮮な空気を吸うこと。 ただちに医師の診察を受けること。
皮膚に付着した場合	皮膚に接触した場合: すべての汚染された衣類を直ちに脱ぐこと。 皮膚を流水/シャワーで洗うこと。
眼に入った場合	眼に触れた後は多量の水ですすぐこと。 コンタクトレンズをはずす。
飲み込んだ場合	飲み込んだ後はただちに水を飲ませること(多くても2杯) 医師に相談する。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状	もっとも重要な既知の徴候と症状は、ラベル表示(項目2.2を参照)および/または項目11に記載されている
応急措置をする者の保護 医師に対する特別な注意事項	情報なし 情報なし
5. 火災時の措置	
消火剤	泡 二酸化炭素(CO ₂) 粉末
使ってはならない消火剤	本物質/混合物に対する消火剤の制限なし
特有の危険有害性	炭素酸化物 可燃性。 火災時に有害な燃焼ガスや蒸気を生じるおそれあり。
特有の消火方法	消火水が、地上水または地下水のシステムを汚染しないようにする。
消火を行う者の保護	火災時には、自給式呼吸器を着用する。
6. 漏出時の措置	
人体に対する注意事項、 保護具及び緊急措置	救急隊員以外への助言: 蒸気、エアゾールを吸入してはならない。触れないようにすること。十分な換気を確保する。 危険なエリアから避難し、緊急時手順に従い、専門家に相談のこと 個人保護については項目 8 を参照する。
環境に対する注意事項	物質が排水施設に流れ込まないようにする。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	排水溝に蓋をすること。こぼれたら集めて結合させ、ポンプですくい取る。物質の制限があれば順守 のこと(セクション 7、10参照) 液体吸収剤(例. Chemizorb®)で処置すること。正しく廃棄すること。 関係エリアを清掃のこと。
7. 取扱い及び保管上の注意	
7.1 安全取扱いのための予防措置	安全取扱注意事項 換気フードの下で作業すること。吸い込まないこと。蒸気やエアロゾルが生じないようにすること。 衛生対策 汚れた衣類は取り替えること。事前に皮膚を保護することが望ましい。 本物質を扱った後は手を洗うこと。
7.2 配合禁忌等を踏まえた保管条件	保管条件 密閉のこと。鍵をかけておくか、資格のあるまたは認可された人のみが入り出できる場所に入れておく。 保管安定性 推奨された保管温度 -20 ° C
7.3 特定の最終用途	項目11に記載されている用途以外には、その他の特定の用途が定められていない。
8. ばく露防止及び保護措置	
<u>RNaseA (9001-99-4)</u>	

8.1 管理パラメーター
コンポーネント別
作業環境測定パラメータ

許容濃度が設定されている物質を含有していない。

8.2 曝露防止
適切な技術的管理

汚れた衣類は取り替えること。事前に皮膚を保護することが望ましい。本物質を扱った後は手を洗うこと。

保護具

眼／顔面の保護

NIOSH(US)またはEN 166(EU)などの適切な政府機関の規格で試験され、認められた眼の保護具を使用する。保護眼鏡

皮膚及び身体の保護具

手袋を着用して取扱う。使用前に、必ず手袋を検査する。(手袋外面に触れずに)適切に手袋を脱ぎ、本製品の皮膚への付着を避ける。適用法令およびGLPIに従い、使用後に汚染手袋を廃棄する。手を洗い、乾燥させる。

選ばれた防護手袋は、EU指令2016/425の仕様と、それから派生する規格EN374を満たすものでなければならない。

フルコンタクト

材質: ニトリルゴム

最小厚: 0.11 mm

破過時間: 480 min

試験物質: Dermatril® (KCL 740 / Aldrich Z677272, Size M)

飛沫への接触

材質: ニトリルゴム

最小厚: 0.11 mm

破過時間: 480 min

試験物質: Dermatril® (KCL 740 / Aldrich Z677272, Size M)

身体の保護

保護衣

呼吸用保護具

気化ガス/エアロゾル発生時に必要

次の規格に準拠しているフィルター式呼吸器保護具を推奨します。DIN EN 143、DIN 14387お

環境暴露の制御

物質が排水施設に流れ込まないようにする。

9. 物理的及び化学的性質

9.1 基礎物理および化学特性の情報

RNaseA Solution

外観 形状:

液体

色:

データなし

臭い:

データなし

臭いのしきい(閾)値:

データなし

pH:

データなし

融点・凝固点:

データなし

沸点、初留点及び沸騰範囲:

データなし

引火点:

データなし

蒸発速度:

データなし

燃焼性(固体、気体):

データなし

引火上限/下限または爆発限界:

データなし

蒸気圧:

データなし

蒸気密度:

データなし

比重:

データなし

水溶性:

データなし

n-オクタノール／水分配係数:

データなし

自然発火温度:

データなし

分解温度:

データなし

粘度:

データなし

爆発特性:

データなし

酸化特性:

データなし

9.2 その他の安全情報

データなし

10. 安定性及び反応性

10.1 反応性

推奨保管及び取扱においては安定と考えられる。

10.2 化学的安定性	推奨保管及び取扱においては安定と考えられる。
10.3 危険有害反応可能性	次亜塩素酸カルシウム、酸化銀、アンモニアと徐々に反応し、火災や爆発の危険をもたらす。硝酸、硝酸銀、硝酸第二水銀、過塩素酸マグネシウムなどの酸化剤と激しく反応し、火災や爆発の危険をもたらす。
10.4 避けるべき条件	情報なし
10.5 混触危険物質	強塩基類、抗酸化剤
10.6 危険有害な分解生成物	火災の場合:項目5を参照

11. 有害性情報

RNaseA (9001-99-4)

11.1 毒性情報

急性毒性

経口: データなし
 吸入: データなし
 経皮: データなし

皮膚腐食性／刺激性

データなし

眼に対する重篤な損傷性／ 眼刺激性

データなし

呼吸器感作性又は皮膚感作性

長時間または反復の暴露は、過敏な人に対してアレルギー反応を起こす可能性がある。混合するとアレルギーや喘息の症状を引き起こすことがある。吸入で呼吸困難を生じることがある。

生殖細胞変異原性

データなし

発がん性

データなし

生殖毒性

データなし

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

データなし

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

データなし

誤えん有害性

データなし

11.2 追加情報

長時間または反復の暴露により次の症状を起こす可能性がある:、頭痛、吐き気、嘔吐有害性は除外できないが、適切に取り扱えばその可能性は低い。

12. 環境影響情報

RNaseA (9001-99-4)として

12.1 生態毒性	データなし (混合物)
12.2 残留性・分解性	データなし
12.3 生体蓄積性	データなし
12.4 土壤中の移動性	データなし
12.5 PBT および vPvB の評価結果	化学物質安全性評価が必要ではない/行っていないため、PBT/vPvB評価データはない。
12.6 内分泌かく乱性	データなし
12.7 他の有害影響	
オゾン層への有害性	非該当 データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。

14. 輸送上の注意

該当の有無は製品によっても異なる場合がある。法規に則った試験の情報と、分類実施中の12項の環境影響情報とに、基づく修正の必要がある。

RNaseA (9001-99-4)

14.1 国連番号	ADR/RID (陸上規制): - IMDG (海上規制): - IATA-DGR (航空規制): -
14.2 国連輸送名	ADR/RID: 非危険物 IMDG (海上規制): Not dangerous goods IATA-DGR (航空規制): Not dangerous goods
14.3 輸送危険有害性クラス	ADR/RID (陸上規制): - IMDG (海上規制): - IATA-DGR (航空規制): -
14.4 容器等級	ADR/RID (陸上規制): - IMDG (海上規制): - IATA-DGR (航空規制): -
14.5 環境危険有害性	ADR/RID: 非該当 IMDG 海洋汚染物質(該当・非該当):非該当 IATA-DGR (航空規制): 非該当
14.6 特別の安全対策	なし
14.7 混触危険物質 詳細情報	強塩基類, 強酸化剤 国際輸送に関する国連勧告の定義上は、危険物に該当しない。

15. 適用法令

15.1 物質または混合物に固有の安全、健康および環境に関する規則/法律

国内適用法令

RNaseA (9001-99-4)

消防法:	危険物に該当しない。
毒物及び劇物取締法:	非該当
労働安全衛生法	非該当
特定化学物質障害予防規則:	非該当
有機溶剤中毒予防規則:	非該当
名称等を通知すべき危険物及び有害物:	非該当
名称等を表示すべき危険物及び有害物:	非該当
化学物質排出把握管理促進法:	非該当
大気汚染防止法	非該当

16. その他の情報

注意:

本SDSは自社SDSデータベース並びに各種の出版されている情報、文献などに基づいて作成されていますが、すべての情報を網羅しているわけではありません。従って、本情報は化学物質の安全性の指標としてのみご使用ください。また、本SDSの記載内容は情報提供を目的としており、当該化学物質の取り扱い上のいかなる保証をなすものではありません。すべての材料および混合物には未知の危険性が存在する可能性があり、注意して使用する必要があります。本SDSは、新しい情報が入手可能になった場合、改訂されることがあります。